科目ナンバリング	U-LAS55 10001 SB31						
授業科目名 <英訳>	多文化教養演習 ：見・聞・知@中国大陸 Seminar for Multicultural Studies : Watch, Listen and Learn @ Mainland China			担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 准教授 韓 立友 国際高等教育院 教授 河合 淳子 国際高等教育院 准教授 家本 太郎 国際高等教育院 特定准教授 若松 文貴		
群	キャリア形成科目群	分野(分類)	多文化理解		使用言語	日本語及び英語	
旧群		単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・ 後期集中	曜時限	集中 集中・未定	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

多文化教養演習 ：見・聞・知@中国大陸は、①京都大学が実施する「多文化共学短期[派遣]留学プログラム」と呼ばれる短期留学、②事前学習、③事後学習から成る授業である。見・聞・知は、「けん・ぶん・ち」と読み、様々な人々と対話し、多文化に深く接する経験を積むこと（＝見・聞）、そしてその経験の中で主体的に学んでいくこと（＝知）が重視されることを表している。
本演習の目的は、多様な文化的背景を持つ学生と共に学ぶことを通して、相手文化への理解を深めるとともに、自分自身が身につけてきた文化をも捉え直す経験をし、それを日本語、英語、もしくは現地の言語で表現できるようになることである。これらのことは、将来にわたって国際活動を行うための基礎能力を養成することとなる。

具体的には、京都大学と大学間学生交流協定関係にある浙江大学の協力を得て、(1)派遣先大学が提供する中国語講座、(2)現地学生との共同セミナー・共同学習、(3)派遣先大学提供の講座受講・実習・実地研修・文化体験を行う。

(1)の中国語講座は、細かくレベル分けを行い、各人のレベルにあったクラスで行われる。また(2)は現地教員との連携により浙江大学学生との討論及び共同発表を行う。さらには、(3)浙江大学の教員による講義、企業訪問、現地文化の体験活動を実施する。

[到達目標]

・短期留学の経験並びに現地の学生と共に学び議論することを通じて、派遣先の現地文化、社会、習慣への理解、さらには日中関係についての理解を深める。
・上記の活動を通じて、日本文化あるいは自分自身の身につけてきた文化を相対化して客観的に捉えながら、それを相手に分かりやすく伝えられるようになる。
・現地で提供される講義、実地研修を通じて、文化、社会、習慣について多様なアプローチを理解する。
・現地学生を含む多様な文化的背景を持つ学生とコミュニケーションを図る意義を理解し、それを可能とする能力の基礎を習得する。
・中国語能力を向上させ、よりレベルの高い表現力を習得する。

[授業計画と内容]

研修の詳細についてはKULASISで確認すること。
短期留学プログラムについては、別途申し込みをする必要があるため、申込方法などについて登録者に送られる案内、KULASIS等を参照すること。

全体スケジュール（予定）
（１）2月中旬～3月初旬：事前語学授業(10時間程度）、共同セミナー発表準備（4時間程度）
（２）3月初旬～3月下旬：短期留学プログラム（於、浙江大学）
プログラム内容（仮）
1日目　　日本発、中国杭州着
2日目　　・09:00－12:00実地研修 1/4　杭州の自然探訪、文化的中心街研修：西湖、河坊街、南宋

多文化教養演習 ：見・聞・知@中国大陸(2)へ続く↓↓↓

御街等
・14:40－クラス分けプレイスメントテスト
3日目　・08:00－11:30中国語授業
・1時間30分：オリエンテーション、中国留学事情説明会
・16:00－19:30　実地研修 2/4　杭州の政治、経済、貿易中心街研修：銭江新城
4日目　・08:00－11:30中国語授業
・2時間：共同セミナー準備
5日目　・08:00－11:30中国語授業
・2時間：講義受講1/2　「現代の日中関係を読む」「日中比較文化」等。担当：浙江大学教員
6日目　・08:00－11:30中国語授業
・2時間：共同セミナー準備
7日目　・学生交流（上海、南京等訪問）
8日目　日曜日
9日目　・08:00－11:30中国語授業
・2時間：講義受講2/2　「現代の日中関係を読む」「日中比較文化」等。担当：浙江大学教員
10日目　・08:00－11:30中国語授業
・2.5時間：実地研修3/4　企業訪問
11日目　・08:00－11:30中国語授業
・2時間:実地研修4/4　大運河博物館、中国シルク博物館、和茶叶博物館等
12日目　・08:00－11:30　中国語授業
・15:00－17:30　共同セミナー
13日目　・08:00－11:30　中国語授業・試験
・12:00－13:00　修了式
14日目　・学生交流（上海、南京等訪問）
15日目　中国杭州出発、日本帰国
（３）3月下旬　報告会（1.5時間、於、京都大学）

[履修要件]

全学共通科目「日本語・日本文化演習」を受講した上での参加を推奨する。中国語初学者も歓迎するが、全学共通科目「中国語」等の関連科目を受講していることが望ましい。

[成績評価の方法・観点]

事前学習への参加状況（15%）、派遣先大学における評価（60%）、帰国後の報告会および報告書（25%）による。

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

・現地文化、現地社会に関する文献を読むこと。
・現地で受講する講義で指定される文献を読んでおくこと。

多文化教養演習 ：見・聞・知@中国大陸(3)へ続く↓↓↓

多文化教養演習 ：見・聞・知@中国大陸(3)

[その他（オフィスアワー等）]

・浙江大学側プログラム実施責任者
浙江大学　国際教育学院　副院長・教授　唐 暁武　(Xiaowu TANG, Vice Dean, Professor, International College, Zhejiang University.)

[主要授業科目（学部・学科名）]